ARIMA CROSS STUDY PLAN

第4学年

研究主題

みんなで協力し、たくさん経験して、
自分たちの力で夢を実現しよう
～関わりあい・語り合い・高めあい～

道徳

思いやりって(親切,思いやり)

骨折した友達に手を貸そうとする「わたし」の姿などを通して、思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、親切な行為を進んで行おうとする判断力を育てたい。

つまらなかった(相互理解,寛容)

何気ない言葉を巡ってすれ違う二人の姿をなどを通して、どのようにしたら互いに分かり合えるのか、また分かり合うためには何が必要なのかを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼しようとする心情を育てたい。

各教科等

社会

健康なくらしとまちづくり

よりよい生活を送るために自分たちにできることを考える

国語

クラスみんなで決めるには

学級における諸問題に対する自分の考えとその理由を明確に伝えながら話し合う活動を通して、自分と異なる意見も大切であることに気付き、他者の意見を受け入れながらより良いものを決定したい。

学校教育活動

はるにれフェスタ

共生社会を実現するためのイベントに向けて自分と違う意見や考えのよさを生かしながら取り組みたい。

学習発表会

本番へ向けて、自分や相手のよさを認め合いながら、よりよい人間関係を築いていけるように取り組みたい。

運動会

実行委員を立て、多様な意見を尊重し、他者のよさを認め合いながら、学年全体で目標に向かいたい。

総合的な学習の時間

・パラスポーツ体験や福祉教室を通して、それらに携わる人々の思いを知り、みんながどのような考えを持つことが大切かを考え、みんなが楽しめるニュースポーツを考案する活動を通して、共生社会を実現するために必要な新たな考え方や課題に気付き、誰もが自分らしく生きることのできる活動に取り組みたい。
・体験活動の重視(パラスポーツ、福祉教室、当事者の方との出会い、文化スポーツ課との関わり、大谷小学校との交流、老人ホームへ訪問など)

学年の目指す児童像

①話をよく聞き、考えて、進んで行動する子　知
②自分や友だちを大切にし、思いやりのある子　徳
③心と体を大切に目標をもって生活できる子　体